

東庄 散歩

ぶらり歴史めぐり



vol. 7

須賀山城址 笹川



東庄町観光ガイドの会
平野 剛さん

ココが見どころ!

見晴らし



須賀山の由来

延暦20年（西暦801年）、征夷大將軍の坂上田村麻呂が、東国征伐の長旅の途中に、現在の東庄町平山地区にたどり着きました。台地の上から北側にある諏訪明神の森（笹川地区）を見て、「あれは洲か、山か」と尋ねました。その時から笹川地区の大部分（根方・仲内・大木戸など）は、「須賀山」と呼ばれるようになりました。

城の歴史

須賀山の台地に城を築いたのは、千葉常胤の子も、東胤頼です。桜井城（旭市櫻井）から文治6年（1190年）に城を移しました。その後は東教頼、常綱、千葉胤富が居城したと伝えられています。胤富が森山城（香取市岡飯田）に入城してからは、森山城の外郭部となりました。天正18年（1590年）の小田原城落城とともに須賀山城も廃城となりました。

城址

築城当時、台地下の南東部は桁沼と呼ばれる沼地でした。城からの見晴らしは良く、沼地の様子を監視することができました。現在も、城址からは桁沼の美しい田園風景が見られます。

城を築いた理由は、利根川対岸の常陸国と争いが続いていたからです。城は、陸上と利根川の水運を押える重要な役割を果たしました。

城址の楽しみ方

城址への道のりは、自動車で行くと落輪しますので、徒歩で登っていくことをおすすめします。お城は建っていませんが、当時の様子を想像して楽しんでください。

御城印は観光会館で購入できます
(1枚300円)



会員募集中です!

東庄町観光ガイドの会 ☎080-8757-4750

旬の風

町ホームページが12年ぶりにリニューアルしました。広報東庄を作りながらの、ホームページリニューアル……同僚にも手伝わってもらいましたが、大変でした。と、私の話は置いておいて、この12年間で世の中は大きく変わり、ホームページへのアクセスもパソコンよりもスマートフォンが多くなりました。「スマホ非対応では、時代に取り残されてしまう!」ということ、やっとならスマホ対応になりました。ぜひお手元にスマホがある方は、確認してくださいね。また、今回のリニューアルに併せて、広報東庄の誌面も電子書籍で読めるようになりました。スマホやタブレット端末などで読むときは、指でスワイプと操作してみてください。



▲12年間、町の顔だった旧ホームページ

広報東庄

人が輝き地域が光るまち・とうのしょう

Tonosho Town Public Relations



2022 10

No.678

ぼく
僕らの心はVERY HOT!
～止められない^{とうちゅう}東中の熱い気持ち～



主な内容

- ホームページがリニューアルー ②
- 令和3年度東庄町の家計簿ー ④
- タウンピックアップー ⑩
- くらしのカレンダーー ⑯



東庄町
公式アカウント
友だち募集中



PHOTO/東庄中学校運動会
9月10日(土)、東庄中学校
で運動会が開催されました。